

## SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 2021年 3 月 4 日

| 事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿  |  |   |
|--|--|---|
| スポーツを通じて、地域における少年少女の健全育成と共に、まちづくり、人づくり、健康づくり及び国際交流に寄与する。                               |  |   |
| 事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動  |  |   |
| 『子どもたち為に、次世代の為に』を重点的な活動理念とし、スポーツが持つ寛容性と尊厳を促進し健康、教育、まちづくりに寄与し、人・団体・地域の結びつきの役割を活動の中心とする。 |  |   |
| 目標に関連する取組内容  |  |   |
| ゴール  | これまでの取組  | 2021年12月31日までの取組目標  |
|       | サッカースクールの開催やトレセンへの講師派遣<br>サッカー競技規則の勉強会の開催  | サッカースクールの開催やトレセンへの講師派遣<br>サッカー競技規則とリスペクト精神の理解を深める   |
|       | ガールズサッカーパーティーを実施<br>全国少年少女草サッカー大会をはじめ各種の大会等においても男女関係なく全ての人に参加出来る環境を整え実施                                    | 全国少年少女草サッカー大会をはじめ各種の大会等においても男女関係なく全ての人に参加出来る環境を整え実施   |
|       | ハンディキャップの大会に対し、中学生を中心とした生徒が参加し、体験やボランティア活動を実施<br>全国少年少女草サッカー大会決勝の会場である日本平競技場でハンディキャップの試合を行いより広く参加出来る環境を整えた | 仲間作りのサッカー教室の実施<br>障害者サッカーチーム作り・大会参加への支援   |
|     | 子どもに対するあらゆる形態の暴力や心理的な攻撃をなくす（子どもの声を聴き、子ども視点を尊重した環境づくり）  | 子どもに対するあらゆる形態の暴力や心理的な攻撃をなくす（子どもの声を聴き、子ども視点を尊重した環境づくり）<br>全国少年少女草サッカー大会においてSDGsの理念に沿った指導者（監督等）の表彰制度の検討 |
|     | 個人・団体・企業等と連携し大会等の運営を実施   | メインとなる全国少年少女草サッカー大会はSDGsの普及にも力を入れ個人・団体・企業等と連携し大会等の運営を実施   |
| その他  |  | SDGsについて大会等を通じ啓発活動を実施   |

（記載上の注意）

- 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 目標はなるべく定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

|                    |   |       |
|--------------------|---|-------|
| 事業所・団体等又は関連事業者等の名称 | NPO法人 清水サッカー協会<br>(本社が届け出る場合はその事業所の数 )                        |       |
| 業 種                | 1 1. 教育、学習支援業   |       |
| 代表者 職・氏名           | 職 名   | 会長    |
|                    | 氏 名   | 牧田 博之 |
| 所 在 地              | 〒424-0924<br>静岡県清水区清開2丁目1番1号 清水総合運動場体育館2階                     |       |
| U R L              | <a href="http://www.nposhifa.net">http://www.nposhifa.net</a> |       |
| 従業員（構成員）数          | 男性 <u> 3 2 </u> 人 女性 <u> 4 </u> 人 計 <u> 3 6 </u> 人            |       |